

2020年12月21日
更新日：2021年6月24日



住まう人のライフスタイルに応える新収納空間
“STORAGEA（ストレージア）”が
『IAUD国際デザイン賞2020』で銅賞を受賞

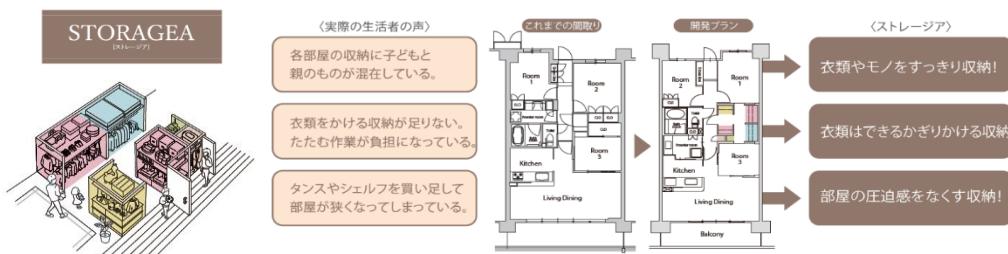
阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪市北区、社長：諸富隆一）では、ライフステージやライフスタイルが変化しても使いやすい新収納空間として開発した『STORAGEA』が、一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）が主催する『IAUD国際デザイン賞2020（※1）』の住宅・建築部門で、銅賞を受賞（2年連続受賞（※2））しました。

- ※1 民族や文化、性別、年齢等の違いによって、生活に不便さを感じることなく、“一人でも多くの人が快適で暮らしやすい”ユニヴァーサルデザイン社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行っている団体・個人に授与し、国際的に表彰するもの（ウェブサイト <https://www.iaud.net/award/>）。
- ※2 昨年、当社はタイの不動産デベロッパーであるセナ・デベロップメントと共に、ライフステージやライフスタイルの変化に対応する「ジオフィットプラス<ステージ>」の取組みにおいて、金賞を受賞しました。

『STORAGEA』は、2022年3月入居開始の物件から導入する予定の収納空間です。これを開発した背景としては、昨年、当社の分譲マンションにお住まいの方に調査を行った結果、変化し続けるライフステージやライフスタイルに、マンション購入時の収納計画・空間が対応しきれていないことが分かりました。具体的には、子ども部屋に父親のスーツが収納されている、あるいは二人暮らしのご家庭では、広い部屋が納戸部屋となっているなどというものです。このため、これらの変化に対応するため、部屋全体の収納量やレイアウトを見直すとともに、昨今の生活様式の変化に合わせて使い方を柔軟に変えることができる収納を目指して、集約型の収納空間『STORAGEA』として商品化しました。

今回の受賞は、こういったライフスタイルなどが変化しても、快適で暮らしやすい住居を維持できるよう、収納空間をデザイン開発したという点が評価されたものです。

当社では、今後も引き続き、ユニヴァーサルデザインに配慮した「誰もがいつまでも暮らしやすい住まい・街づくり」を実現してまいります。

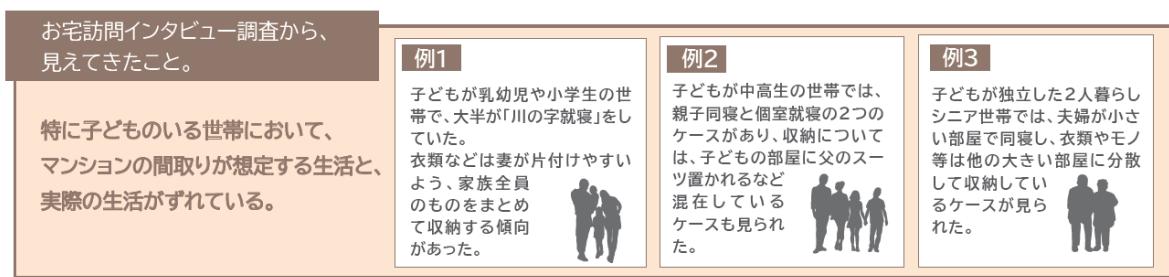


〈審査員コメント〉

日本の都市部の住宅は狭くなる傾向にあります。あらゆる課題と同様に、変化に応じて適用できるデザイン方法についての理解が深まりました。収納の問題を解決する賢明で柔軟な解決策です。UDの視点と特徴をさらに明確にしていくことを期待します。

Japanese urban homes tend to be small, and like all challenges, this has led to better understanding of how to design in adaptability. The result is a clever and adaptable solution to a range of identified storage problems, unfortunately lacking a clear UD perspective and features.

■STRAGEA（ストレージア）開発の背景

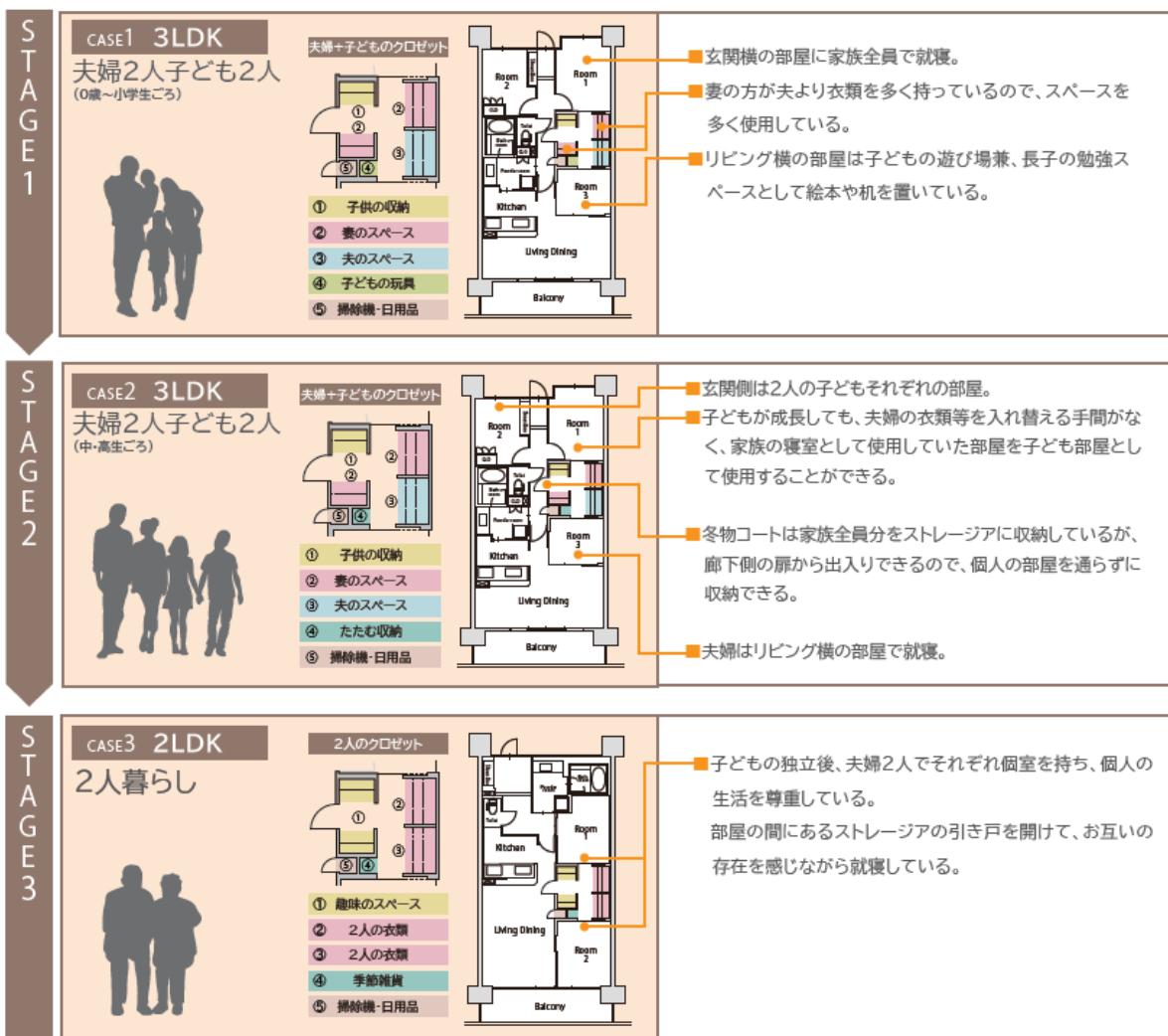


実際の生活に合った収納空間の必要性を認識。

家族の成長に合わせて、部屋を使用する人や用途を変化させながら生活をしていることがわかつてき。それは、日本特有の「添い寝・川の字就寝」や「昼は食事室、夜は寝室」というような和室の転用性を活かした昔からの生活習慣」が影響していると考えられる。そこで「部屋を使用する人が、部屋に備え付けの収納にその人のモノを収納する」という想定を見直し、家族構成や年齢が変化しても実際の生活に合った、誰もが使いやすい収納空間を検討することが重要だと考えた。

■STRAGEA（ストレージア）の特徴<変化に対する高い柔軟性>

- ① 子どもが成長し、お部屋の使い方が変化しても、ずっと使いやすい
- ② 家族の人数やライフスタイルが違っても、ずっと使いやすい



■STORAGEA の概要

『STORAGEA』（ストレージア）（※）は、ライフステージやライフスタイルが変化しても使いやすい収納を実現させるため、当社の商品企画モニターの皆さまと考へて開発した9個の特長を有する新しい収納空間です。今後、順次〈ジオ〉において採用を拡大してまいります。

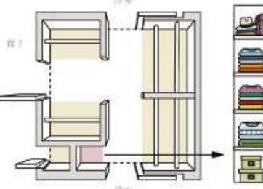
特長1：大人2人分の掛ける収納

大人2人分の衣類、計100着程度の洋服をかけて収納できるハンガーパイプを設けています。



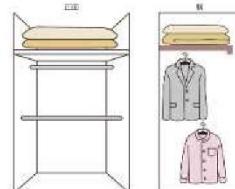
特長2：たたむ収納

「たたむ収納」もしやすいように可動棚のスペースを確保しています。



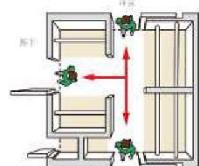
特長3：奥行きのある収納

枕棚等に布団や寝具類を収納できるスペースを設けています。



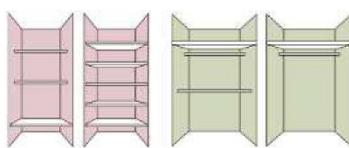
特長4：アクセス性

廊下・部屋からのアクセスが可能。遅い帰宅でも家族に気兼ねなく洋服を出し入れできます。



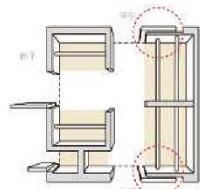
特長5：フレキシブル性

ハンガーパイプと棚板の高さを自由に変えられます。同じサイズなので、使いまわしも可能です。



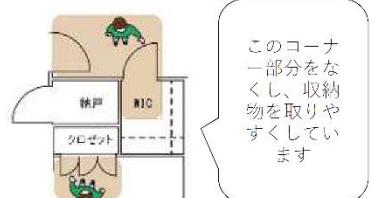
特長6：デッドスペースの解消

洋室側の収納扉は引戸にしているので、洋室空間を広く使うことができます。



特長7：出し入れしやすいカタチ

従来のクローゼットに見られるコーナー部分をなくし、衣類を取り出しやすくしています。

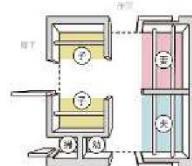


このコーナー部分をなくし、収納物を取りやすくしています

特長8：管理しやすい

レイアウト

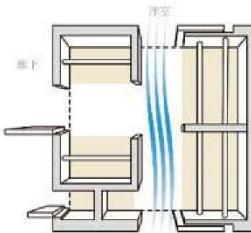
区切り感のあるスペースで、使う人別・収納物の種類別などで管理しやすくしております。



使う人別の参考例

特長9：通気性

引戸を開放すれば、収納内にも風が通ります。



(注) 物件やプランにより各スペースの配置や形状・仕様が異なります。

*特長の一部内容を更新いたしました。

* 『STORAGEA』（ストレージア）開発に関するリリース

【URL】https://www.hhp.co.jp/data/pdf/2_2yw3jj4t1v40oc4os0coowc4w.pdf

* 詳しい内容は『STORAGEA』（ストレージア）紹介ページをご参照ください。

【URL】<https://geo.8984.jp/geofit/days/index.html>

* 商標登録第6355952号